



## ASA 鶴沼西部・片瀬 地域密着コラボ企画

## ～英語を使う体験を通して、英語への興味・関心を育むイングリッシュ・セミナー～

湘南学園小学校 校長 河本 洋子

日本人は意見を求められたとき、ズバツと言え人が少ない。アメリカの大学生は何も知らなくても堂々と自分の意見を言うが、日本の学生はそれができていない。その背景には、文化の違いやコミュニケーション・教育方法の違いがあるのでしょう。子どもたちに、多様性の高いグローバル社会の中で活躍できる力を育むには、これまでの英語教育を見直していかなければなりません。

## 【1】湘南学園小学校の英語教育

湘南学園小学校では、小学校1年生から英語の授業が始まります。ネイティブと日本人の先生が、歌とゲームを中心にした楽しい授業をチーム・ティーチングで指導しています。しかし、学んだ英語を実際に使ってみる機会はそれほど多くありません。そこで、授業で学んだ英語を使ってみる機会を増やすために、長期休暇中を中心にした課外の各種イングリッシュ・セミナーを充実させてきました。

春の「Spring School (1～3年)」、夏の「English Camp (4～6年)」・「葉山Summer school (1～6年)」、冬の「British Hills English Seminar (5・6年)」です。これらは希望者を対象としたプログラムですが、参加した子どもたちからは「外国人の先生と生きた英語のやり取りを体験できる学びの機会」として歓迎されています。

## 【2】「English Camp2017」

今年の夏は、山梨県の富士吉田に出かけて「English Camp2017」を2泊3日で実施しました。小学4～6年の希望者が、英語漬けの3日間を過ごしたのです。

朝、集合した時から公用語は英語。レッスンはネイティブの外国人講師の紹介に始まり、アイスブレーキング・スピーチ・ゲーム・工作・歌など、楽しい活動が続きます。時間が経つにつれて子どもたちの緊張も和らぎ、英語でのやりとりに慣れてきた様子で、先生の質問を真剣に聞き、知っている英語を並べて懸命に答える姿が見られました。

レッスンだけでなく食事や休憩時間にも付き添ってくれる先生方とはすっかり打ち解けて、最終日のスピーチ発表が終わると一人ひとりにハイタッチをして讃えてくれる先生方に、みんな素敵な笑顔を見せていました。

## 【3】英語を使う体験を通して

このように、短期間に集中的に生きた英語に触れる体験を通して、英語を使って意思疎通できた楽しさを味わうことは、英語学習のモチベーションを高めることに繋がることでしょう。

また大勢の人を前にしてのプレゼンテーションを成しとげた体験は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や自信を育んでくれることと思います。

「学んだ英語を使うことができ嬉しかった」「外国に興味湧いた」「これからも英語を学び続けたい」など、この夏、たくさんの収穫を得た子どもたち。英語を使ったコミュニケーションの楽しさを体験できたことは、これからの語学学習の原動力になると期待しています。



※10/1(日) 9:30～学校説明会 詳しくはHPをご覧ください

【湘南学園小学校】藤沢市鶴沼松が岡4丁目1番32号 <http://www.shogak.ac.jp/>

【当販売店エリアの小学校・中学校の紹介が出来ます。関心のある学校関係者様はASAまでお問合せ下さい。】